



とうぎん しょう

# 東山の雄

一関市立千厩中学校  
学校だより 第16号  
令和5年8月24日  
文責：菊池

## 何のために社会体験学習を行うのか？

2学年では、8月22日（火）の5・6校時に、来週からの社会体験学習に向けた事前学習をジョブカフェ一関のセンター長 金野 薫 様他6名の講師をお迎えして実施しました。

5校時には、金野センター長から「働くことについて深く考えてみよう」というテーマのもと、「働くことの意義（意味・価値）」「これからの社会の中での仕事」「働き出すまでに確実に身に付けておきたいこと」についてお話していただきました。暑い中でしたが、資料を見ながら熱心に説明に聞き入っていました。

6校時には、学級ごとに2名の講師から、あいさつや言葉遣い、お辞儀等の実技指導を行っていただきました。最初は、恥ずかしさもあり、声が小さかったり、手に落ち着きがなかったり、言葉遣いがうまくいかなかったりしていましたが、講師の指導を受け、他の人の実技を見たりすることで、しだいにしっかりした所作、あいさつができるようになっていました。ある講師の方から「すごく反応が良くて指導しやすかった。」とお褒めの言葉いただきました。

今回の事前研修の成果を、来週からの社会体験学習で発揮することを期待しています。基本は“笑顔”ですよ。



### 【働くことの意義（意味・価値）】

- <経済的自立>①「自分の生活を支える」（自分が働くことで、給料などを得て自分の生活を支える）  
②「社会を支える」（税金を払うことで、国・県・市町村の運営を支える）  
<精神的自立>③「社会の役に立つ」（人の生活の役に立ち、社会が成り立つようそれを支える）  
④「自己実現」（自分の夢や希望の実現、仕事でも生活でも）

### 【これからの社会の中での仕事】

- ①「社会は動くもの」だということを知ってほしい  
<皆さんが仕事に就くのは5～10年先、「働く社会=仕事」も今と同じではない。>  
②「SDGs」ということを知ってほしい  
<今の人類及び地球上の大きな課題=今後は仕事もこのことを念頭に考える必要あり>

### 【働き出すまでに確実に身に付けておきたいこと】

- ①他者の話を聴くことができ、他者と話しが自然にできるようになること。  
②自分から進んで、発言したり行動できたりするようになること。  
③どんなことでも、自分で考え、判断し、行動できるようになること。  
④社会の多くの人と寛容の精神を持ち、おつきあいができるようになること。  
⑤筋道（順序）だった考え方や行動ができるようになること。  
⑥現実社会に対し関心を持ち、社会の仕組みを理解できるようになること。

- ⑦社会の様々なできごとに対し、立ち向かうことができるようになること。
- ⑧自分を素直に冷静に見つめることができるようになること。
- ⑨自分の役割に応じた責任を理解できるようになること。
- ⑩あいさつなどマナーと日常の生活習慣の基本を身に付けること。

※社会体験学習はこれらの力つけてもらうための「きっかけ」や「訓練」の場

## 英語を学習する意味を知った3日間

7月26日(水)～28日(金)の2泊3日で、いちのせき健康の森を会場に「中学生英語の森キャンプ」が実施され、本校生徒5名を含む一関地方の中学2年生52名が参加しました。

このキャンプの間、当たり前ですが、英語を使わなければならない活動だったわけですが、時間の経過とともに積極的に英語を使うようになったとのこと。

以下の感想のとおり、参加した5名は大きな刺激を受けてきましたので、1年生の皆さんも来年度は多数参加するよう期待しています。

僕が英語の森キャンプで一番印象に残った研修は、オーストラリアのセントラルハイランズ市の生徒との交流です。班員それぞれ違う内容を紹介しました。僕は、日本の学校の生徒は放課後に部活動をするということを発表しました。その後、お互いに質問し合いました。相手からの質問に答えるとき、ジェスチャーなどをしながら答えました。ジェスチャーなどをしながら話すと、相手にとっても伝わりやすいし、英語が分からなくてもジェスチャーをすれば伝わりました。たくさんの人と英語で話せたので良かったです。これからはもっと英語で話せるようになりたいです。(2A 菅原雄誠)

僕は3日間、同じ学校の友達や別の学校の人たち、ALTの先生と楽しく活動したり、英語の学習をしたりすることができました。特に、セントラルハイランズ市の生徒に日本のことを紹介したり、質問をしたりして、セントラルハイランズ市のことをたくさん知ることができたのが印象に残っています。また、飛行機に乗るときやお店などで使える英文を学ぶことができました。

(2A 皆川隼澄)

私が3日間過ごした「中学生英語の森キャンプ」の感想は2つあります。

1つ目は、英語で指示された時とALTに話しかけられた時の対応が難しかったことです。よく聞いていないと指示は英語なので、意味が分かりません。ALTに話しかけられた時には、英語で返さなければならないので、返す言葉を頭の中で日本語から英語に変換するのがとても難しかったです。

2つ目は、オーストラリアのセントラルハイランズ市という場所の同じ年の人たちに英語を使って日本の文化について会話したことです。前の日に話す内容を考えてから、当日は緊張しながら考えた文章を読みました。最初は緊張していましたが、だんだん慣れてきて楽しくなりました。

とても楽しい3日間でした。ALTに英語で話しかけられたときに受け答えできてうれしかったので、もっとしっかり受け答えできるように英語をたくさん勉強したいです。(2A 千葉風沙)

1番印象に残ったことは、一関市と姉妹都市のセントラルハイランズ市との交流で、一関市のことなどを発表したり、質問をし合ったりしたことです。いろいろな学校から来た他の生徒の人たちと一緒にゲームなどをしながら楽しく学べました。この貴重な経験をこれからの生活に活かしていきたいと思いました。(2C 小野寺友菜)

僕が英語の森キャンプに参加した理由は、自分の英語の力を試そうと思ったからです。実際に行ってみると、自分の英語が通じるかすごく不安でした。ですが、自分のカタコトの英語が通じてすごく嬉しかったです。勉強になったことは、グループでの活動の時に、英文の書き方や日常であまり使わない単語を知ることができたことです。とても勉強になったので、これからの学習に活かしたいです。

(2B 高橋宏翔)